

資料提供	
令和7年1月29日	
課名：環境保全課 担当：秋山 内線：2925 電話：082-513-2925	課名：イノベーション推進チーム 担当：増廣 内線：3364 電話：082-513-3364

経済産業省 × 広島県
「サーキュラーエコノミーによる地方創生シンポジウム in 広島」開催について
日時：令和7年2月3日（月）13時30分～

経済産業省は、広島県との共催により、**サーキュラーエコノミーへの理解を深めるとともに、産官学連携による具体的な実装手段を議論するシンポジウム**を次のとおり開催します。

本シンポジウムでは、本県、湯崎知事が登壇し、本県の海洋プラスチック対策やカーボンリサイクルを軸としたサーキュラーエコノミーに係る取組を紹介する他、産官学の有識者や実践者による事例紹介、事例をベースとしたパネルディスカッション、参加者や講師による交流会を予定しています。

広島県では、経済産業省と連携しながら、サーキュラーエコノミーに係る取組の先進地として、国内外に発信してまいります。

ぜひ、万障お繰り合わせの上、ご取材いただきますようお願いいたします。

■実施概要

- 日時：令和7年2月3日（月）13時30分～17時15分（受付開始：13時～）
- 会場：広島国際会議場 B2階 大会議室ダリア（広島市中区中島町1-5）
- プログラム：

13時30分～	経済産業省 GX グループ 資源循環経済課 国際資源循環管理官 高橋 幸二 「サーキュラーエコノミー実現に向けた産官学連携」
13時55分～	広島県知事 湯崎 英彦 「広島県におけるサーキュラーエコノミー推進の取組」
14時15分～	広島県公立大学法人 叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部 学長補佐・特任教授 石川 雅紀 氏 「ネットゼロ制約下のプラスチック資源循環」
14時55分～	株式会社ダイセル マテリアル SBU CAFBLO 事業推進部 部長 樋口 暁浩 氏 「海洋生分解性を有する酢酸セルロース樹脂普及促進の取組」
15時20分～	大成建設株式会社 技術センター エグゼクティブ・フェロー 丸屋 剛 氏 「環境配慮コンクリートによるカーボン・サーキュラー・エコノミーの実現に向けて」
15時35分～	青山商事株式会社 広報部長 長谷部 道丈 氏 「青山商事におけるサーキュラーエコノミーへの取組」
15時50分～	パネルディスカッション ダイセル／大成建設／青山商事 （ファシリテーション：株式会社新東通信 CIRCULAR DESIGN STUDIO. スタジオ長 山下 史哲 氏）
16時35分～	ネットワーキング

取材申込書

経済産業省 × 広島県
「サーキュラーエコノミーによる地方創生シンポジウム in 広島」開催について

日時：令和7年2月3日（月）13時30分～

お手数ですが、下記必要情報をご記入の上、**2月3日（月）10時まで**に、お申込くださいようお願いいたします。

【提出先】

広島県 環境保全課（瀬戸内海環境戦略グループ）
（担当：増田・樽谷）

FAX 返送先：082-227-4815 または

電子メール：kanhozen@pref.hiroshima.lg.jp

※メールの件名に「取材申込」とご記載ください。

貴社名	
貴紙・誌名／部署	/
ご芳名	
TEL／FAX	/
携帯電話番号	
撮影方法	スチール（ ）台、ムービーカメラ（ ）台

【特記事項】

○ 本返信用紙にご記入頂いた個人情報は、個人情報保護法の主旨に照らして、適切かつ慎重に取り扱わせて頂きます。

なお、携帯電話番号につきましては、緊急時の際の連絡に使用しますので、当日、連絡のつく番号をご記入ください。

○ プログラム内の途中退席も可能です。

向きを変えれば、 追い風になる。

世界では「サーキュラーエコノミー」への移行が急速に加速しています。資源の枯渇。環境汚染。日本の企業も例外なく、対策が求められています。

向かい風か、追い風か。捉え方ひとつで、
たくさんのチャンスが見つかります。

競争ではなく、共創を。

自治体、教育機関、民間企業が連携すれば、
地方から世界を変えることもできるはずです。

サーキュラーエコノミー
チャンスは、地方にある

サーキュラーエコノミーによる地方創生シンポジウムin広島

2025.2.3

月

13:30 - 17:15 (予定)
開場 13:00



広島国際会議場 大会議室ダリア B2F
広島県広島市中区中島町1-5

プログラム

13:30～ 行政によるCE推進



高橋 幸二
経済産業省
GXグループ
資源循環経済課
国際資源循環管理官



湯崎 英彦
広島県知事
広島県における
サーキュラーエコノミー
推進の取組

14:15～ 大学のCE推進



石川 雅紀
敬啓大学
ソーシャルシステム
デザイン学部
学長補佐・特任教授
ネットゼロ制約下の
プラスチック資源循環

14:55～ 企業のCE推進



榎口 晁浩
株式会社タイセル
マテリアルSBU
事業推進部 部長
海洋生分解性を有する
酢酸セルロース樹脂
普及促進の取組



丸屋 剛
大成建設株式会社
技術センター
エグゼクティブプロフェッサー
環境配慮コンクリートによる
カーボン・サーキュラー
・エコノミーの実現に向けて



長谷部 道文
青山商事株式会社
広報部長
青山商事における
サーキュラーエコノミー
への取組



ファシリテーター
山下 史哲
株式会社新東通信
CIRCULAR DESIGN STUDIO.
スタジオ長



司会
多田 えりか

※プログラム内容や時間は事前の予告なく変更の可能性があります。予めご了承ください。

PROGRAM シンポジウムプログラム

行政によるCE推進	13:30	サーキュラーエコノミー 実現に向けた産官学連携	経済産業省 GXグループ 資源循環経済課 国際資源循環管理官 高橋 幸二	
	13:55	広島県における サーキュラーエコノミー 推進の取組	広島県知事 湯崎 英彦	
大学のCE推進	14:15	ネットゼロ制約下の プラスチック資源循環	叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部 学長補佐・特任教授 石川 雅紀	
企業のCE推進	14:55	海洋生分解性を有する 酢酸セルロース樹脂 普及促進の取組	株式会社ダイセル マテリアルSBU CAFBL0事業推進部 部長 樋口 暁浩	
	15:20	環境配慮コンクリートによる カーボン・サーキュラー ・エコノミーの実現に向けて	大成建設株式会社 技術センター エグゼクティブ・フェロー 丸屋 剛	
	15:35	青山商事における サーキュラーエコノミー への取組	青山商事株式会社 広報部長 長谷部 道丈	
	15:50	パネルディスカッション ※5分間の質疑応答あり	ダイセル/大成建設/青山商事 ファシリテーション:株式会社新東通信 CIRCULAR DESIGN STUDIO. スタジオ長 山下 史哲	
議論・交流会	16:35	Meetup (ネットワーキング)	名刺交換&ネットワーキングの 時間をご用意	

サーキュラーエコノミー(CE)とは

大量生産・大量廃棄から脱却し、始めから廃棄や汚染を生み出さない仕組みをつくる経済モデル。資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、ストックを有効活用しながらサービス化等を通じ、付加価値を最大化させることを目指す。



始めから
廃棄物を
出さない



シンポジウムへの 参加申し込みはこちら▶



WEBサイト:<https://business.form-mailer.jp/lp/41b6d914265098> 申し込みフォーム

株式会社ランドマークス「サーキュラーエコノミーシンポジウム」係
電話:052-990-3796(平日10:00~17:00[12/28~1/5除く])
MAIL:ce-entry@lms-g.jp